

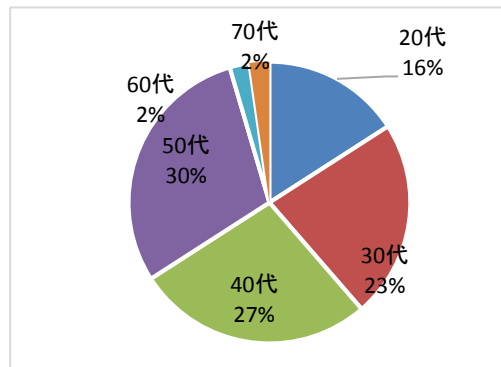
絆研修アンケート結果（第4回絆研修②:令和元年9月29日）

研修参加者46人アンケート回収44人 回収率95%

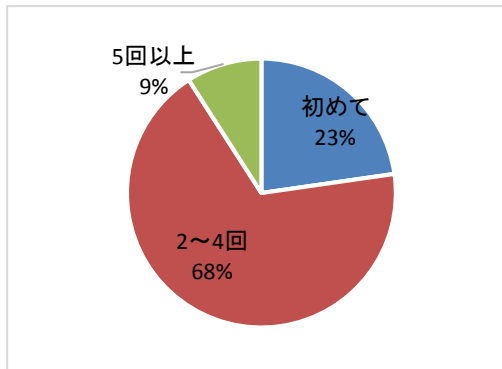
1. 職種

職種	人数	割合
看護師・准看護師	23	52%
介護支援専門員	5	11%
理学療法士	4	9%
未回答	2	5%
介護職	2	5%
MSW	2	5%
医師	1	2%
歯科医師	1	2%
管理栄養士	1	2%
保健師	1	2%
作業療法士	1	2%
行政職	1	2%

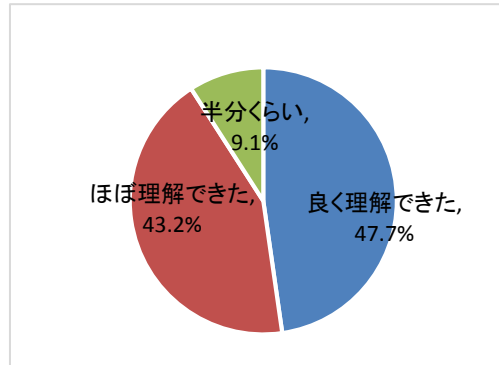
2. 年齢



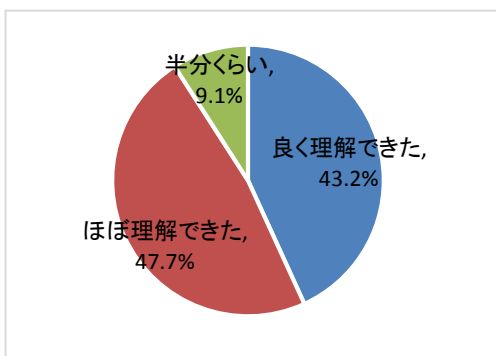
3. 多職種研修への参加回数



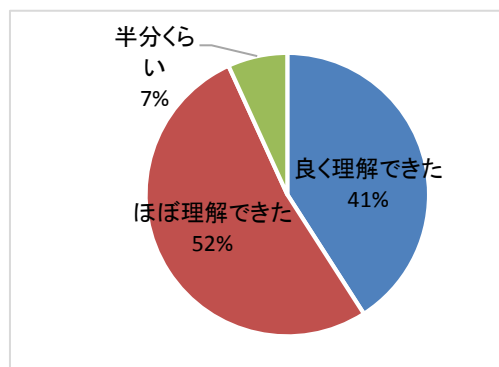
4. 地域包括ケアについて理解できましたか



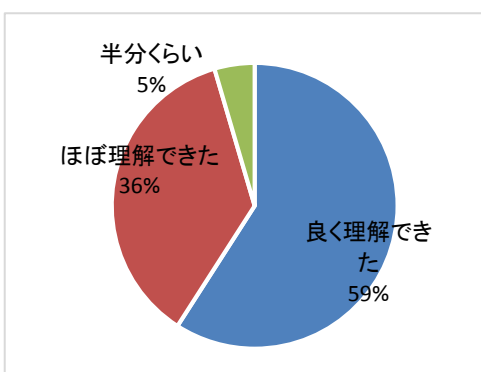
5. 退院から在宅へ支援していく多職種の役割が理解できましたか



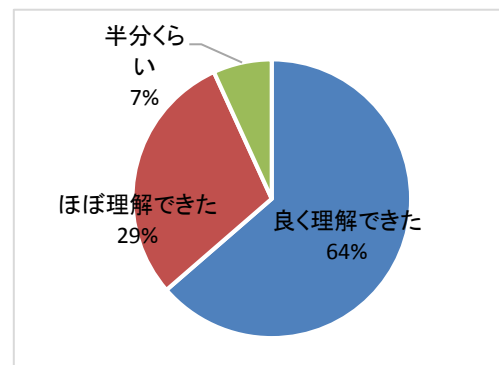
6. 本人の生き方を尊重した合意形成について理解できましたか



7. 意思決定の支援とそれを引き継ぐことの重要性について理解できましたか



8. 医療介護だけでなく人生の視点で本人、家族の希望や幸せに配慮することが大切と理解できましたか



9. 研修の評価(5段階)

①研修時間

評価	人数
1 (長い)	1
2	3
3 ↓	38
4 ↓	2
5 (短い)	0
<hr/>	
	44

②難易度

評価	人数
1 (難しい)	0
2	7
3 ↓	27
4 ↓	9
5 (やさしい)	1
<hr/>	
	44

③積極的に参加できたか

評価	人数
1 (できた)	13
2 ↓	18
3 ↓	13
4 ↓	0
5 (できなかった)	0
<hr/>	
	44

④ファシリテータの仕事ぶり

評価	人数
1 (よかった)	34
2 ↓	6
3 ↓	4
4 ↓	0
5 (悪かった)	0
<hr/>	
	44

10. 改善点(自由記載)

・もう少し考える時間が欲しかった

11. その他

- ・自分のACPIについても考えるべきだと気付かされた
- ・多職種が意見交換できる機会は少ないので今日は色々な職種の視点が勉強できました
- ・それぞれの参加者の思いが聞けて良かった。個人の背景によって考えは違うのですね。
- ・多くの職種が関わり合いながら在宅生活を進める中で、本人や家族の思いを前提として職種内での合意形成をしてからの関わりが必要だと感じた。
ACPIについて、その時の状況(自分の年齢や子供有無、子供の年齢など)によって考えが違ってくことをグループワークをして感じる事が出来た。
- ・介護職員の参加が少ないと聞き参加させてもらった。グループワークも楽しく刺激になった。第一回も参加したいと思える研修でした。
- ・今年度で4クールになるかと思います。以前出席された方々にも再び出ていただけるよう似たような
- ・鳥取市の地域包括ケアシステムとして、どんな時にどう動くか、具体的施策としてどうしているか、どうして行くのかを紹介して頂けるとありがたいです。ホームページを見ても自分が何をどうして行けばよいか考えにくいと感じています。
- ・毎回進化しています。足立先生含め、スタッフの皆様の熱意に敬意を表します。
- ・まだまだ大病院との連携が非常に取りにくいと感じます。医療分野で活躍されている方々も、もっと在宅サービスへのご理解をいただけたら良いのになとも感じています。
- ・鳥取市だけでなく1市4町が繋がることのできる絆研修の継続参加、大切だと思いました。
- ・本人や家族との話をする機会は毎月あります。今後の事や治療の方針等について、本人やご家族に話を聞く事は、なかなか難しいと思っていますが、今回の研修を通し、本人や家族の気持ちを聞いていく事も大切だと感じました。